

大分県



大分県森林づくり
マスコットキャラクター
「もりりん」

森林環境税



大分の豊かな森林と 木のある暮らしを次世代へ

大分県 農林水産部 森との共生推進室



1 大分県森林環境税導入の目的

森林は、木材やしいたけ生産のほか、水源のかん養や空気の浄化・土砂災害の防止・地球温暖化の防止など、多くの役割を果たしています。

県では、「森林環境の保全」と、「森林を全ての県民で守り育てる意識の醸成」のため、平成18年度から県民税の特例として「森林環境税」を導入しました。

2 大分県森林環境税の概要

■管理・運営

- 大分県森林環境税は「森林環境保全基金」に積立て、他の財源と区別しています。
- 基金の適正な運用を図るため、県民の代表からなる第三者機関「大分県森林づくり委員会」を設置し、事業の審査や成果の検証等を行っています。

■期 間 税の特例期間：5年

第1期：平成18年度～平成22年度

第2期：平成23年度～平成27年度

第3期：平成28年度～令和2年度

第4期：令和3年度～令和7年度

■税 額 個人…年額 500円(個人県民税均等割額に加算)

法人…年額 1,000円～40,000円(法人県民税均等割額の5%相当額を加算)

■税 収 単年度 約3億3千万円

〈森林環境税の積立状況〉

(千円)

第1期 平成18年度～平成22年度	H18	H19	H20	H21	H22
	200,781	295,120	309,363	306,987	302,495
第2期 平成23年度～平成27年度	H23	H24	H25	H26	H27
	304,011	305,745	307,590	306,164	307,609
第3期 平成28年度～令和2年度	H28	H29	H30	R1	R2
	315,240	317,844	321,592	322,917	—

※積立額は、税収から市町村の徴収に要する経費を引いたもの

※R3.1月末時点

■全国の森林環境税導入状況

- 大分県は全国で9番目に森林環境税を導入しました。
- 令和3年3月現在、全国で37府県1市が導入しています。

3 大分県森林環境税の取組

第1期の実績(平成18年度～平成22年度)

森林環境税第1期は、「県民意識の醸成」、「環境を守り災害を防ぐ森林づくり」、「持続的経営が可能な森林づくり」、「遊び学ぶ森林づくり」の4つの施策を柱として事業を実施しました。その結果、森林づくり活動への県民参加の輪が広がり、県民自ら取組む森林づくりや、子どもを対象とした森林体験活動が活発に行われるようになりました。また、荒廃した森林の間伐や、再造林放棄地への植栽を推進したことで、森林環境の保全や災害の未然防止が図られました。

施策の柱	主な事業	
	事業内容	実績
I. 県民意識の醸成	森林ボランティア活動の推進(写真1)	参加者数延べ 53,781 人
	企業参画の森林づくりを推進	参加企業 16 社
	県民からの提案事業を支援	実施団体 123 団体
	海岸や港に漂着する流木の除去	処理量 6,511 m ³
II. 環境を守り災害を防ぐ森林づくり	荒廃した森林の強度間伐	間伐面積 782 ha
	再造林放棄地への植栽(写真2)	植栽面積 102 ha
	荒廃した竹林の整備	整備面積 28 ha
	森林のシカ被害防止	捕獲頭数 18,006 頭
III. 持続的経営が可能な森林づくり	森林作業道の整備	作業道延長 16,413 m
	学校へ木製机・椅子の導入(写真3)	導入数 4,627 セット
	県産材の海外輸出を支援	輸出量 21,554 m ³
	林業適地への再造林を支援	再造林面積 257 ha
IV. 遊び学ぶ森林づくり	子どもが遊べる森林の整備	箇所数 32 箇所
	子どもの森林体験活動を推進(写真4)	体験児童数 26,269 人
	森林環境教育指導者の養成	指導者養成 84 人
	小・中学校、高校で森林環境教育を実施	参加者数 12,446 人



(写真1)
森林ボランティア
による植樹活動

造林放棄地に
広葉樹を植栽
(写真2)



(写真3)
県産材の木製
机・椅子の導入

子どもを対象とした
森林体験活動
(写真4)



第2期の実績(平成23年度～平成27年度)

第2期は、平成24年に九州北部豪雨で流木被害が発生したことから、「災害に強い森林づくり」として河川沿いの森林整備の取組を開始しました。

テーマ:「県民生活を守り、地球環境保全につながる森林づくり」

〈第2期で重点的に取り組む課題〉

- ・災害に強い森林づくり
- ・皆伐跡地の再造林の確実な実施
- ・森林シカ被害への対策
- ・間伐が遅れた森林の機能回復
- ・竹林など荒廃が進む里山林の整備

施策の柱	主な事業	
	事業内容	実績
I. 災害に強く、生物多様性に配慮した森林の整備		
1 荒廃森林の機能回復	河川沿いの人工林整備(写真1)	整備面積 142 ha
	荒廃した森林の強度間伐	間伐面積 220 ha
	再造林放棄地への植栽	植栽面積 22 ha
2 荒廃里山林の整備と利活用	荒廃した竹林の整備	整備面積 117 ha
3 獣害対策の推進	森林のシカ被害防止	捕獲頭数 115,815 頭
		防護柵設置 13,980 m
4 森・川・海をつなぐ流域環境の整備	海岸や港に漂着した流木の除去	処理量 9,980 m ³
II. 低炭素社会に向けた森林資源の確保と循環利用		
1 健全な人工林資源の再生	林業適地への再造林の支援	再造林面積 2,030 ha
2 未利用資源の有効利用	高齢化した広葉樹林の再生	更新伐 64 ha
3 木材の需要拡大	スギ丸太等の海外輸出(写真2)	輸出量 122,808 m ³
III. 県民参加の輪を広げ、次世代へつなぐ取組		
1 森林ボランティア活動の推進	森林ボランティア活動の推進(写真3)	参加者数延べ 63,926 人
	県民からの提案事業を支援	実施団体 229 団体
2 森林環境教育・木育の推進	子どもの森林体験活動を推進	体験児童数 17,140 人
3 森林整備への理解と参加を広げる活動	県民参加の森づくり大会開催	参加者 3,600 人



河川沿いの危険木を伐採し、流木の発生を予防(写真1)



中国や台湾などへ大分県産スギ丸太を輸出(写真2)



森林ボランティア活動の推進(里山の竹林整備)(写真3)

第3期の実施状況(平成28年度～令和2年度)

第3期は、多発する豪雨等災害に対応するため、引き続き、「災害に強い森林づくり」に取り組んだほか、大分県立武道スポーツセンターやオリンピック・パラリンピックビレッジプラザにおける県産材利用を支援しました。

テーマ:「自然豊かな大分の魅力を育む持続可能な森林づくり」

〈第3期で重点的に取り組む課題〉

- 荒廃森林の整備
- 里山林の保全と利活用
- シカ被害対策の推進
- 森林資源の需要拡大と健全な人工林資源の再生
- 林業の担い手確保・育成
- 森林環境教育・木育の促進

施策の柱	主な事業	
	事業内容	実績 (H28～R1)
I. 県民生活と自然環境を守る森林づくり		
1 荒廃森林の整備	河川沿いの人工林整備	整備面積 113 ha
	再造林放棄地への植栽	植栽面積 35 ha
	河川内の流木及び危険木除去	整備箇所 18 箇所
2 里山林の保全と利活用	荒廃した竹林の整備(広葉樹林化)	整備面積 4 ha
	荒廃した竹林の整備(優良竹林化)	整備面積 35 ha
	里山の景観保全	整備箇所 64 箇所
3 シカ被害対策の推進	森林のシカ被害防止	捕獲頭数 139,780 頭
4 森・川・海をつなぐ環境の整備	NPO等による海岸の流木清掃	活動参加者数 14,502 人
	漁業者による港湾部の流木除去	整備した漁港 23 漁港
II. 森林資源の循環利用による地域活性化		
1 健全な人工林資源の再生	林業適地への再造林を支援	再造林面積 3,074 ha
2 森林資源の需要拡大	竹材・タケノコ生産技術者の養成	技術研修参加者 90 人
	公共建築物の木造・木質化 (大分県産材の利用)	武道スポーツセンター 985 m ²
		竹田津港 33 m ²
森林認証材の普及 (大分県産森林認証材の供給)	オリ・パラビレッジプラザ 22 m ² (日田材、佐伯材)	
3 林業の担い手育成	林業新規就業に必要な物品の支援	支援した新規就業者数 25 人
III. 森にふれ親しみ、森林づくりを支える取組		
1 森林ボランティア活動の促進	森林ボランティア活動の推進	活動参加者数 5,046 人
	森林ボランティアの養成	新規森林ボランティア登録 229 人
	県民からの提案事業を支援	支援団体数 164 団体
2 森林環境教育・木育の推進	子どもの森林体験活動の推進	体験児童数 18,309 人
	みどりの少年団活動の支援	新規団の設立数 2 団
	木育インストラクターの養成	養成したインストラクター 15 人
3 森林づくりへの理解と参加を広げる活動	県民参加の森林づくり大会の開催	大会参加者数 2,561 人

※R3, 1月末時点



I. 県民生活と自然環境を守る森林づくり

河川沿いの人工林整備



流木化が懸念される人工林



流木対策として予防伐採



植生の回復

荒廃竹林の整備(優良竹林化)



竹が密生し荒廃した竹林



優良竹林化
(タケノコ・竹材生産林)

里山の景観保全



里山景観の改善(宇佐市 両合棚田)



II. 森林資源の循環利用による地域活性化

林業適地への再造林を支援

従来:3,000本/ha植栽

低コスト:2,000本/ha植栽



植栽間隔 1.8m

植栽間隔 2.3m



林業適地における低コスト再造林現地

公共施設の木造・木質化(武道スポーツセンター)



施設の屋根構造に大分県産材を利用

森林認証材の普及(オリパラビレッジプラザ)



大分県産の森林認証材を供給(日田材、佐伯材)

Ⅲ. 森にふれ親しみ、森林づくりを支える取組

県民参加の森林づくり大会の開催(豊かな国の森づくり大会)



H28 中津市



R1 津久見市

県民提案による森林づくり活動



森林づくりボランティアによる
里山林の整備(竹林整備)

森林環境教育の推進



森の先生による森林体験学習



指導者の育成研修

みどりの少年団活動の支援



屋久島研修

第4期大分県森林環境税について

大分県森林環境税は5年ごとに、制度の在り方や取組の内容について見直しを行っています。第三者機関による在り方検討会や、県民意見(パブリックコメント)をふまえ、税制度を継続し、第4期(R3~R7)は下記テーマに沿った取組を推進します。

大テーマ 大分の豊かな森林と木のある暮らしを次世代へ

取組の3本柱

- I. 県民の暮らしを守る安全・安心の森林づくり
- II. 森林資源の循環利用による地域活性化
- III. 森林を守り親しみ、次世代につなぐ取組

大分県森林づくり マスコットキャラクター もりりん



森の妖精 もりりん だよ。
大分の森の中で生まれたんだ。森の中で遊ぶのが 大好き。
好きなものは しいたけ。大切なものは どんぐり。
みんなが 森を大好きになって大切にしてほしいな。

「森の先生」を派遣します

身近なフィールドで森林体験活動をしてみませんか？



派遣は
無料です

■活動内容

自然観察会、ネイチャーゲーム、森林・林業体験など

■派遣の対象となる活動

- 保育園、幼稚園、小・中学校、高校、大学、子ども会、放課後児童クラブ等の団体が行う活動
- 参加者が概ね10人以上の活動
- 活動時間が概ね2時間以上のもの

森林ボランティアに参加しませんか？



県では、森林ボランティア情報の発信や森林づくり活動に必要な機材の貸出等を行っています。

申込み・
お問合せ先

大分県森林づくりボランティア支援センター

TEL・FAX:097-578-8151

E-mail:toyomori@o-midori.jp



HPIはこちらから

大分県森林環境税について、さらに詳しく知りたい方は・・・

大分県森林環境税

検索

または▶▶▶



大分県 農林水産部 森との共生推進室

TEL:097-506-3872 E-mail:a16210@pref.oita.lg.jp

大分県 総務部 税務課

TEL:097-506-2384 E-mail:a11500@pref.oita.lg.jp